

第2次農業振興計画 施策一覧

資料5

施策(大分類)	主要事業(中分類)	No.	個別事業(小分類)	H28年度 実績	平成27年度の実績
①食と暮らしを支える多様な農業	直売所のさらなる活用	1	直売所の利用の促進	①直売所のアンケート調査を実施し、HP掲載準備中。 ②めぐみちゃん事業の中で直売所イベントを実施した。	①めぐみちゃんメニュー専用HPの情報更新・活用 ②即売会、都主催イベント等で活用 ③H27.11.14～11.28直売所農業者21組参加
		2	おでかけマップの更新	「おでかけ図鑑」の中で、JAや市施設での直売所の紹介を行っている。	国の地方創生先行型事業を活用し、観光振興事業の中で、市内農業に関する情報発信を実施(「おでかけ図鑑」で市内農業を紹介)。
	地産地消の推進	3	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	①食べ歩きイベント(グルめぐキャンペーン)の実施、マルシェを5回(夜間や都のウォーキングイベントに合わせ)開催した。 ②新たな事業者選定した。 ③ジェイコム番組内でめぐみちゃんメニューや事業者の紹介を行った。 ④ファームカーで使用する音声を作成した。	①食べ歩きキャンペーン(7/18～10/31【マップ1万部配布】) ②市民交流型イベント「マルシェ」「プチマルシェ」(3回実施:6/24【100名来場】・7/28【150名来場】11/28あらかしき【700名来場】)
		4	学校給食との連携	12月20日学校栄養士と農業者の連絡会に、JAの市内2支店から職員が参加し、今後の取組を検討していくこととした。	栄養士との連絡会(学校運営課主催)参加。H27.12.21登録14農業者中7名出席。双方の現場事情の共有、発注方法など事務手順のすり合わせを行った。
	販路の拡大と西東京ブランドの育成	5	めぐみちゃんメニューの推進(都市と農業が共生するまちづくり事業)	=3	①食べ歩きキャンペーン(7/18～10/31【マップ1万部配布】) ②市民交流型イベント「マルシェ」「プチマルシェ」(3回実施:6/24【100名来場】・7/28【150名来場】11/28あらかしき【700名来場】)
		6	めぐみちゃんブランドの普及啓発	①めぐみちゃんメニュー事業を推進している。 ②補助金「市産農産物活用補助金」の対象を、市内で販売を行う商工業者も含めるよう要綱を改正し、さらに活用を促す。	国の地方創生先行型事業を活用し、農産物キャラクター「めぐみちゃん」をカラー化。着ぐるみ、ベスト等を作成した。新めぐみちゃんは市民まつりにてお披露目。
		7	JA直売所の開設検討	①JA保谷、田無で行っている農業者の直売会へのファームカーによる広報の支援を行っている。 ②支店統合等にあわせ、JAに要望を行っていく。	①実施中 ②調査・研究の継続(7月7日にJA東京みらい保谷支店敷地内に直売所を開設)
		8	地域や商店街との連携	①ファームカーによる、いこいの森公園での直売活動を支援した。 ②ダイドードリンコ10周年に東伏見直売会と参加した。 ③商店街主催の夏祭りイベントでファームカーを使用して、農業者が直売を行った。	①東伏見ふれあいプラザにて即売会の実施継続【毎週金曜日開催】 ⇒市報掲載、カラーチラシ作成によるPR拡大 ②H27.11.1 西武鉄道ウォークラリーの農産物直売にファームカー参加。PRを行った。
②多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営	若い担い手や女性農業者の育成	9	地元と連携した後継者育成	①東京都フレッシュ&Uターンセミナーとの連携した後継者育成の協力を行っている。 ②認定農業者の経営改善計画において、後継者も含めた農業経営の計画策定を支援している。	第1回委員会(5月)において、本年度からの実施を確認。「フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー」修了者を対象にステップアップセミナー実施検討。
		10	若い担い手(新規就農者含む)の育成の検討	フレッシュ&Uターンセミナーと連携した活動継続	「フレッシュ&Uターン農業後継者セミナー」修了者を対象にステップアップセミナー実施検討。
		11	女性農業者の育成の検討	①農業委員会に女性農業者が参加する。意見等をいただく。 ②農業振興事務所が、保谷直売所の女性農業者に、講義(勉強会)開催。女性の視点の活用を図っている。	
	援農ボランティアの活用	12	農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供(都市と農業が共生するまちづくり事業)	①「青空塾」修了者と農業者のマッチングを、農のアカデミーにて実施している。 ②都「広域援農ボランティア」の周知・広報の協力	「東京の青空塾」修了者が、農のアカデミー農業体験実習農園の事業に参加中。本年度、農業者とのマッチング実績あり。
		13	援農ボランティアのスキルアップ(都市と農業が共生するまちづくり事業)	援農ボランティアのスキルアップ講習会を、市内農業者の協力を得て、農のアカデミーにて実施している。平成28年度16名のボランティアと指導農家8名で6回実施。	農のアカデミー農業体験実習農園にて実施中⇒スキルアップ講習会
	効果的な支援による農業経営意欲の促進	14	認定農業者への支援の拡充の検討	①「認定農業者経営改善補助金」による支援制度がある。 ②経営改善計画作成への支援(西東京市農業経営改善支援センター) ③認定農業者連絡会の開催支援を行った。	「認定農業者経営改善支援補助金」を実施⇒6月22日～7月17日まで申請者受付。交付12名決定。
15		新たな支援策の調査・研究	①現在実施している補助金の内容の精査、見直しを実施。 ②直売所への支援策を市戦略プランで検討	「認定農業者経営改善支援補助金」を実施⇒6月22日～7月17日まで申請者受付。交付12名決定。	
16		営農支援事業の適正運営	「営農支援事業」をJAが実施している。	JA東京みらいにおいて、「援農支援事業」実施中	
③農	生産緑地の保全	17	生産緑地地区制度への意見の具申	平成28年度意見提出において、生産緑地の再指定の検討を要望した。都市計画課との意見交換を行った。	農業委員会建議提出
		18	農地の適正な肥培管理	法に基づき農地パトロールを実施、実情に応じた指導を総会において協議、検討している。	農業委員会による「農地利用状況調査(農地パトロール)」を実施

第2次農業振興計画 施策一覧

施策(大分類)	主要事業(中分類)	No.	個別事業(小分類)	H28年度 実績	平成27年度の実績
農地の保全と活用	多面的機能の発揮	19	花摘みの丘の活用 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	①園主等の協力を得て、景観散策会を実施した。 ②消費者センターで寄せ植え体験実施した。	農業景観散策会等の事業の実施【6/14(11名参加)、10/18(14名参加)】
		20	農のアトリエ「蔵の里」の活用 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	①園主の協力を得て、小学生を対象とした農業学習を実施した。 ②園主、自衛隊、消防署、市危機管理室の協力を得て、防災訓練を実施した。	①小学生への農業学習を実施(碧山小・保谷小)各学期に1回 ②H28.1.23畑の防災訓練実施。危機管理室、消防署、陸上自衛隊協力、参加市民30名
		21	災害協力農地の拡大	JAと市が協定をしている。農業者の希望があればJAへの照会、手続の推進を支援	
④農業を通じた交流	各種イベント、即売会等の実施	22	農業景観散策会の実施	=19	農業景観散策会等の事業の実施【6/14(11名参加)、10/18(14名参加)】
		23	市内産農産物活用事業の実施	農のアカデミーにおいて、幼稚園、近隣市民、市長を招いて収穫祭を開催した。	2/6親子でクッキング(田無総合福祉センター)で実施
		24	親子で野菜づくりにチャレンジの実施	市民を募集し、カブ等の播種、収穫体験イベントを実施した。	9月5日(土)作付・10月31日(土)収穫を実施【親子20組40名参加】 ⇒大根・カブの栽培、収穫
		25	農業普及啓発プロジェクトの活用 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	市内農業関係施設を使用した、農業関連イベントを実施した。 ファームカーの音声による広報、直売参加による利用回数の増(39→60回予定)を図った。	即売会、地域イベント等における、ファームカー・ビデオ・イメージソングの活用中
		26	めぐみちゃんマーケットの開催 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	プチマルシェを開催(夜間や都のウォーキングイベントに合わせた開催など)を行った(3に関連)。	プチマルシェ3回(6月、7月、2月)、西東京マルシェ(11月)開催。
		27	緑のアカデミー事業の実施 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	市民やふるさと納税者計180名が参加して、緑のアカデミー実施し、植木生産の広報、交流を行った。	11月21日実施【市民200名参加、緑化組合協力】 ⇒農林水産省「農」ある暮らしづくり交付金(H27年度まで)を活用
		28	農とのふれあい散歩道づくり (都市と農業が共生するまちづくり事業)	イベント時にパンフレット等により周知、広報を実施した。	農業景観散策会の事業実施と併せて実施 ⇒散歩道(ルート図)を配布・活用
		29	ファームカーを活用した即売会(マルシェ)の検討	いこいの森マルシェでファームカーを使用した。	ファームカーの活用を引き続き検討する。
	農商工・産学公連携の推進	30	めぐみちゃんメニューの推進 (都市と農業が共生するまちづくり事業)	=3	①食べ歩きキャンペーン(7/18~10/31【マップ1万部配布】) ②市民交流型イベント「マルシェ」「プチマルシェ」(3回実施:6/24【100名来場】7/28【150名来場】11/28あらしき【700名来場】)
		31	地域や商店街との連携	=8	東伏見ふれあいプラザにて即売会の実施継続【毎週金曜日開催】 ⇒市報掲載、カラーチラシ作成によるPR拡大
32		東大生態調和農学機構との連携	×		
市民農園の新しい展開と農業体験農園の推進	33	市民農園の新しい展開	①支出との割合や他自治体を調査した検討の結果、負担金を見直し年3,500円とした。 ②肥培管理マニュアルを配布し、ルールを守りながら栽培を楽しんでもらう取組とした。	①平成27年度利用申込者から増額実施(1,500円⇒2,250円) ②新たな取組の検討開始(肥培管理マニュアル作成)	
	34	農業体験農園の推進	①募集時の市報等での広報や市民まつりでの広報の実施を支援した。 ②開設時の支援(補助金)制度がある。	ホームページ等を活用した情報発信の継続、広報支援	